

会長：平子玲子 札幌市西区琴似4条6丁目5-8-601 (TEL643-3491) 発行人：安高誠吾 Email :syasutaka@bear.odn.ne.jp

幹事会報告 6月12日(木) Zoom 会議

出席：大橋、菊地、平子、高田、中島、安高

- 第37回総会・懇親会：5月31日(土)終了。参加者8名
 - 道スキー協第24回総会：7月6日(日)、高教組センター、代議員1名(安高)を選出
 - 夏の行事(登山)：7月26日(土)または27日(日)、三角山～赤坂山、後日詳細を決定する。
- 次回幹事会：7月16日(水) 18:00より Zoom 会議

Kotoni Step Club
since 1989

第37回定期総会議案書



総会および懇親会
総会の日時：5月31日(土)午後5時より 総会終了後懇親会
会場：居酒屋「鳥太郎 琴似本店」 懇親会費：4,000円
(西区琴似1条2丁目5-6 琴似一番館ビル Tel:642-9779)

第37回定期総会&懇親会の報告

本年度の総会が5月31日(土)に懇親会と合わせて居酒屋「鳥太郎」で開かれました。参加者は8名でした。福尾さんを議長に選び、2024年度の活動報告、決算報告、会計監査報告と2025年の活動方針案、予算案が審議され、すべて承認されました。2025年度の役員の交代はありませんでしたが、会計監査は鈴木さん一人となりました。これまで長年琴似ステップに所属し、会計監査役を務められるなど、クラブの活動を支えて下さったクラブ最年長の福尾さんが今年で退会されることになりました。大変残念なことです。いつまでもお元気にお暮らし下さい。お世話になりました。(安高記)



昨年、横浜在住の友人が「除夜の鐘を聞きに京都に行くの」と。そこから話が進み、元旦に京都駅で待ち合わせました。何せ、高校の修学旅行以来の京都です。

京都駅を見て、大きさと美しさに感動。旧札幌ドームを設計した建築家、原宏司の設計とのことです。まずは金閣寺から始まり、龍安寺の石庭、仁和寺などを観光し、翌日は三十三間堂の千体の観音立像に圧倒され感動し、清水寺、八坂神社、下川原町の竹林など。3日目は、伏見稲荷大社は人も多く、時間的にも頂上は断念し、四ツ辻までで帰路につきました。

友人は京都に詳しくて、私はただついていっただけでしたが、観光した所全てが感動的でしたし、食べ物も美味しかったです。今度は、高校の修学旅行で行った大原や嵐山などを観光します。



レインボーマウンテン(5036m)に登る

平子 玲子

5年ぶりに訪れたペルー。今回はレインボーマウンテンに登りました。この山は地元ではビニクンカ山と言います。2013年ころから虹色の山肌に注目があつまり観光地化されたとのこと。私はそんな予備知識もなくチャレンジすることになりました。ツアー前にアンケートが来ました。これまでの登山歴・どのくらい高い山に登り、高山病の症状はなかったかなどに詳しく回答。ここはパスしました。

バスで登山口へ向かいます。すでに標高は4700m。空気が薄い。決して走らない。トイレを済ませてガイドの合図で登り始めました(9:00)。いや～、息が苦しいこと。小さな歩幅を守って一步一步。まさに亀の歩みです。決して急いではいけません。馬にゆられていく人。早足で行くフォーリナー。「彼らは何で早く歩けるんだ!」と思いつつゆっくりゆっくり。道のそばでは何頭ものリヤマがのんびり草を食んでいるのですが、それが目に入る余裕ありません。はるか遠くに見える山を仰いでひたすら歩く。幸い高山病の症状(頭痛・吐き気)は無い。励まされて何とか頂上直下の台地にたどり着きました(10:50)。小休止。あまり長く休むとかえってつらいので、頂上をめざす。これがきついこときついこと。あえぎながらやっとたどり着きました(11:15)。ここで寒さに耐えて写真を撮りまくりました。歓びとともに高度順応の厳しさを体験した山でした。インカ道のハイキングは次回に。



編集後記：アラブの国に、「長生きするものは多くを知る。旅をしたものはそれ以上を知る」ということわざがあるそうです。これとは違って、「病気は貧乏人の旅である」と言うトルストイの言葉があります。辛い労働からひととき解放されて、病床に身を横たえて心の中で記憶の旅をするのでしょうか。それもまた旅。今号は旅の特集になりました。

それにしても、赤いMAGA帽の男が好き放題に暴れまくり、世界を混乱に陥れています。自由と民主主義を掲げる国のリーダーが？ 彼は単に身勝手な暴君です。そんな王様はいらない。(安ベエ)

